

1. 子ども・子育て支援事業計画令和元年度実績報告【会議資料1-1～4-2】

項目	第1回会議資料	意見・質問・気付いた点など	事務局回答
図書館	資料1-2 P2 No.10	図書館で、親子向けの読み聞かせ等をしていて、その有効性を伝える職員やボランティアの育成が課題とありますが、各小中学校には、多くの読み聞かせボランティア団体もあり、その様な事の大切さを感じている市民は多くいると思います。でも市でそのような人材を育成して、協力者を募るというような記事、情報をあまり耳・目にしたことがないので、もっと公に広く広告、公募されてみてはいかがでしょうか。	<p>●図書館 図書館では月2回、読み聞かせやおはなしに関する研究会を開催しており、これが図書館で活動するボランティアの育成・研鑽の場となっています。研究会は参加自由となっており、児童文学や読み聞かせに興味のある方は誰でも参加できることから、当面は現行の形で人材育成を行うとともに、広報等のPRに注力していく予定です。</p> <p>●小・中学校 ボランティアの人材の確保については、PTA等を通じて活動内容の紹介を行う等の方法により、その活動内容を保護者の方に広く知っていただくようにしています。現在のところ、広く公募をすることまでは予定しておりません。</p>
病児保育事業	資料4-2 P3 No.7	コロナの感染症も来年の4月はどうなっているのかわかりませんが、精道こども園で病児を4月から開設のご予定ですか。	令和3年4月から、市立精道こども園で病児保育事業を実施予定です。
評価全般	資料3 資料4-2	検証・分析の部分に「コロナウイルス感染予防の影響で」減少という評価がある。年度末からのコロナウイルスの影響での実態を教えてもらいたいと思う。学校・園・所・どの期間休校が続く、どのような再開があり、その期間の学童保育等の対処等、新しい生活様式をとり入れるには計画・その評価も変わってくると思う。	<p>令和元年度実績報告の中の「検証・分析」欄において新型コロナウイルス感染症の影響に言及していた事業等について、主な取組を下記にお示ししています。なお、学校園や放課後児童クラブ等における新型コロナウイルス感染症の対応状況や取組については、市ホームページに掲載しております。（別紙「芦屋市新型コロナウイルス感染症対策 中間まとめ」をご参照ください。）</p> <p>●乳児家庭全戸訪問事業 令和元年度末の2～3月にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭訪問を希望されない世帯が増加したため訪問率が低下しましたが、電話による相談を実施し、養育環境を把握できた世帯数の割合は、例年と変わりませんでした。</p> <p>●地域子育て支援拠点事業 新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年2月27日から6月30日まで事業を休止しました。再開後は、消毒・換気を徹底し、予約制・定員制にて事業を実施しています。</p> <p>●市立こども園・保育所 卒園式・修了式は、感染拡大防止の観点より、密を避けるために保護者の参列人数の制限を行いました。</p> <p>●市立保育所・精道こども園（保育所部） 令和2年4月8日～ 登園自粛要請 4月16日～5月23日 保護者の職業をある程度限定する等の特別保育を実施</p> <p>●市立精道こども園（幼稚園部） 令和2年3月13日～5月31日：臨時休園 5月26日、28日（5歳児） 5月27日、29日（4歳児）：登園可能日の指定 6月1日：入園式</p> <p>●臨時休園・特別保育中の対応 各家庭に子どもの様子を尋ねる電話をしたり、認定こども園・保育所から往復はがきを各家庭に送り、様子を尋ね、子どもたちから返信ハガキに絵が描かれたものを各園に返送してもらい交流を図りました。ホームページに親子でできる簡単クッキングレシピを掲載したり、各園からは「おうちえん」という動画を配信して、保育教諭、保育士による読み聞かせや体操、園に咲いている花や飼育生物の様子を紹介したりしました。</p> <p>●教育・保育施設同士の連携・交流 令和元年度に比べて実施することが困難な状況ではございましたが、一部の就学前施設におけるオンライン交流や小学校における交通安全教室等をDVDの視聴に替える等、可能な対応を取りながら、学校園生活を行っているところです。</p> <p>●学校園 幼児児童生徒が安全に学校園生活を行えるよう、感染症対策を講じた中で教育・保育を実施しております。行事等の内容については、延期や中止をしたり、延期または中止が難しい内容については、時期または実施内容を変更するなどしながら感染症対策を講じた上で実施しているところです。</p>

2. 第2期子育て未来応援プラン「あしや」の進行管理について【会議資料5-1、5-2】

項目	第1回会議資料	意見・質問・気付いた点など	事務局回答
評価基準	資料5-1	「充実」という表現のガイドライン？基準があいまいな気がしました。	重点事業の評価指標は、他機関との連携強化や事業の実施・推進といった内容が多いため、数値目標を設定することが難しいこと、及び特定の取組内容（研修回数や参加人数等）に対して数値目標を設定するよりも、事業全体の内容の充実を図ることが望ましいと考えているため、「充実」としています。 達成水準については、各事業により異なりますが、表出している市民ニーズに対応できているかどうかという点が主な評価基準となると考えます。
地域における子育て支援活動	資料5-1 No.4	公共施設の有効活用について 「あいあいーむ」は地区集会所を利用しています。集会所の利用申し込みが多くて、子どもの拠点として利用しにくいところもあるかもしれませんが、市内には多くの集会所があり、そこが、もっと子育てファミリーや子どもたちだけでも利用できる場所として提供してもらえたらもっと地域で気軽につながる事ができるのではないかと思います。集会所は公共施設利用に入らないのでしょうか。	「あい・あいーむ」は、親子が気軽に集える場として、地域の主任児童委員、民生委員・児童委員がボランティアで開催している情報交換の場です。 集会所は公共施設に含まれ、子育て世代の方や子どもも利用できる場として市民の皆様にも有料で開放しております。子育て支援事業の実施につきましては、集会所が地域のコミュニティづくりや文化活動の拠点として設置されるものであること、及び事業実施に際し人員確保や事前準備を要することから、現時点では市が空き時間を利用して不定期で実施することは難しいと考えております。
放課後児童健全育成事業	資料5-2	高学年の放課後児童育成事業へのニーズ量が少ないのは内容なのか高学年の生活状況なのか…？！	高学年になると、家庭で一人で過ごすことも可能になってきます。 また、塾、お稽古、野球やサッカーなどのスポーツクラブへの参加等様々な選択肢があり、ニーズが減ってくると思われます。 退会届の理由についても、多くが上記の理由となっております。

※第2期子育て未来応援プラン「あしや」の評価基準及び評価方法につきましては、第1回会議でお示した内容から変更しておりません。  
今回、特にご意見が無い場合、事務局案をご承認いただいたものとして、確定させていただきます。

3. その他

項目	第1回会議資料	内容	事務局回答
過年度実績報告	—	令和2年2月14日に配布された資料にもとづいて第5回子ども・子育て会議が実施されたが、令和2年3月9日訂正が郵送されてきた件について、本来、会議のやり直しを必要と考えるが、この件についての説明を次回会議で求めます。	<p>【経過】</p> <p>令和元年8月 7日：第2回子ども・子育て会議で平成30年度実績を報告 令和2年2月14日：第5回子ども・子育て会議で時間外保育事業の実績報告内容訂正の報告 2月26日：議員へ報告書を配信（訂正反映済） 3月 4日：放課後児童健全育成事業の実績報告内容の誤り判明 3月 5日：民生文教常任委員会所管事務調査での訂正の報告 3月 9日：子ども・子育て会議委員へ訂正の報告</p> <p>【修正内容】</p> <p>事業名：放課後児童健全育成事業</p> <p>（正）・目標値・推計値 低学年 H30 532人 ・各年度評価 低学年 H30 C</p> <p>（誤）・目標値・推計値 低学年 H30 482人 ・各年度評価 低学年 H30 B</p> <p>平成27年度から令和元年度までの5か年計画である子育て未来応援プラン「あしや」において、平成29年度に放課後児童健全育成事業の平成30年度、令和元年度の目標値の中間見直しを行ったが、平成30年度実績評価の際に誤って修正前の目標値に対して評価を行っていたため、目標値を見直し後の数値に改めたことに伴い評価を訂正。</p> <p>本件につきましては、会議後に誤りが判明し、実績値が目標値に達していないことが明らかであることから、評価基準に照らして評価を改め、訂正につき議会で報告を行うとともに委員の皆様へ書面にてご報告しました。今後は報告内容に誤りが無いよう、会議資料の作成に細心の注意を払ってまいります。</p>